

公益財団法人大阪ユースホステル協会の活動目的である「青少年の健全育成」に、平成29年度も積極的に取り組んでまいります。各施設の利用増のために、施設の魅力や事業の楽しさ面白さがより伝わるよう工夫し、ホームページやチラシ等各種媒体を通じて発信します。また、設備の整備や接客対応の向上など、より利用者に喜ばれる対応を実践します。

基本方針

1. 青少年健全育成への取り組み

拠点となる3つの青少年施設の運営および各種事業を通じて、ユースホステル運動の活性化や、青少年の健全育成に取り組めます。また、近畿ブロックユースホステル協会協議会として、22歳以下の青少年の登録料無料キャンペーンを実施予定です。

2. 主催事業の実施

子どもや家族を対象とし、体験活動を通じて子どもの成長や家族の絆を深めることを促します。また、ユースホステルの事業を通じて自然や文化や教養等に接してもらうため、全年齢層を対象としてウォーキングやカルチャースクールを実施します。

3. 施設の運営

世界各国から訪れる旅行者のための宿泊施設として、また合宿研修等の会場として、「大阪国際ユースホステル・羽衣青少年センター」(直営)、「大阪市立青少年センター・新大阪ユースホステル」「大阪府立少年自然の家」(以上、指定管理)の各施設を引き続き運営します。「更なる利用促進」「利用者満足度の向上」「施設の健全な維持管理」を方針に、確実に施設運営していきます。新規利用団体の開拓、個人利用者獲得増のための予約サイトの積極的な活用、ファミリーや小グループにとって使いやすいセットプランの企画推進します。また、新しいベットの設置で快適になった大阪国際ユースホステルや、屋根付きバーベキュー場を新設する大阪府立少年自然の家など、設備の向上を積極的にアピールし利用増を図ります。

4. 人材育成

施設・設備の維持管理や指導のスキルはもとより、礼儀正しい態度、親切で丁寧な接客、利用目的達成のための的確な支援等、クオリティーの高い対応を行うために、研修・OJTなどを通じてスタッフの力量を高めます。

事業計画

1, 登録会員数

会員の維持と新規会員獲得のために、若い人にユースホステルを知ってもらう、そしてユースホステルを使って旅してもらうために、周知広報により力を入れます。

- ・インターネットによるオンライン入会の推進
- ・パブリシティを強化し広報活動を充実
- ・主催事業をきっかけとしたユースホステルへの誘い
- ・近畿各府県のユースホステル協会と協働し、22歳以下の青年を対象にした入会無料キャンペーンの実施

2, ユースホステル運動の事業推進

(1) 子ども事業

- | | |
|--------------------|----------|
| ① 日帰りホステリング | 7・10・11月 |
| ② 宿泊を伴うホステリング・キャンプ | 8・1・2月 |

(2) ウォーキング事業

- | | |
|--------------------|-----|
| ① 伊勢迄歩講 | 12月 |
| ② 一発チャレンジ 100km 歩行 | 5月 |
| ③ 近郊ウォーキング | 1月 |
| ④ 歩行検定 | 10月 |
| ⑤ ハイキング | 3月 |

(3) 会員サービスの事業・国際交流

- ① 旅行相談会(月1回)の開催
- ② 外国人旅行者のためのインフォメーション活動

(4) リーダーと指導者の養成

- ① ボランティアリーダーの委嘱会・合同研修会
- ② ボランティア各組織ごとの専門的研修会

(5) 広報活動

- ① モンベルクラブフレンドフェアへのブース出展
- ② 大阪観光局等が主催する商談会への出席や広報資料の提供
- ③ 各種情報掲載サイトへの情報提供

3, 新大阪事業所(大阪市立青少年センター)

設備・備品の更新・充実により利用者満足度および利用率向上を図り、安定した運営を行います。また、クオリティーの高い接遇で施設の好感度を上げるとともに、より利用しやすい施設を目指します。

(1) 文化ゾーン

- ① 講義室・会議室の1か月前利用確認や、利用者への協力依頼等の徹底で、直前キャンセルを防止し、利用率の向上を図る
- ② ニーズの少なかった平日9時台の音楽練習室について、利用促進効果が見られる割引料金制を、継続して実施

(2) 宿泊ゾーン(新大阪ユースホステル)

- ① 朝食付プラン、ファミリーやグループ向けの1室利用パックなど魅力ある企画を予約サイトで積極的に展開
29年度目標 3,500泊 28年度見込 2,900泊
- ② 季節感のあるメニューや盛り付けの工夫など、喫食率アップ策の取り組み
29年度目標 朝食 55%、夕食 28%
28年度見込 朝食 52%、夕食 25%
- ③ 近畿ブロックユースホステル協議会と協働し利用促進を展開

(3) レストラン(ココカフェ)

- ① 広報の強化
 - ・ホームページ、ぐるなび、ホットペッパーに加え 食べタイム、おでかけマップ(地域広報誌)、ランチパスポートへの掲載。
 - ・店名の横断幕(または垂れ幕)の設置
- ② パーティーや結婚式の2次会等の利用増
 - ・隣室との間に防音壁を設置し、同時2件の獲得
 - ・ソフトドリンクの充実により、アルコールを飲めない人の満足度アップ
- ③ 会議室へのテイクアウトメニューの充実
- ④ イベントの企画・開催
- ⑤ 特別支援学校の校外学習におけるアレルギーや摂食障がいに対応した昼食の提供
- ⑥ 会議室への利用促進として テイクアウトメニューを改善

(4) 事業の企画と実施

① 青少年育成事業

- ・ここぷらキッズイベント 毎月1回
- ・KOKO キッズダンス教室 1コース
- ・七夕まつり(笹のディスプレイと短冊受付) 7月
- ・KOKO 秋フェスティバル 10月
- ・高校生 KOKO チャレンジアワード
(バンドやダンスのコンテスト) 11月予選・1月決勝
- ・サンクスギビングフェスタ
(練習利用者対象の発表会) 3月

② 自主事業

- ・童謡喫茶 毎月1回
- ・カルチャー教室
(ヨガ教室、大人のためのピアノ教室、リ
ンパマッサージ、脳トレ速読など) 年間各3コース

③ 宿泊者対象事業

- ・ロビーコンサート
(クロマチックハーモニカ、ゴスペル、尺
八、琴、フルート等) 毎月1回
- ・日本文化体験
(能楽、折り紙、書道、浴衣着付、コスプ
レ、たこ焼き・お好み焼き等) 毎月2回
- ・季節のイベント
(七夕、淀川花火、ハロウィン、クリスマス、
年末年始、節分、ひな祭り等) 適時
- ・その他(似顔絵等) 毎月1~2回

④ ココカフェイベント事業

- ・フォークソングナイト 毎月1回

(5) 利用獲得目標

| | 平成29年目標 | 平成28年見込 | 見込比 |
|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|----------------------|
| 貸室(文化ゾーン) 利用率 | 240,000人 60% | 233,500人 58% | 103% |
| 宿泊(新大阪ユースホテル) ベッド稼働率 客室稼働率 | 24,800人 54% 72% | 24,480人 54% 71% | 101% |
| レストラン ランチ (ココカフェ) パーティー 結婚式2次会 | 14,000人 150組 3,300人 30組 740人 | 12,830人 136組 3,000人 17組 420人 | 106% 110% 176% |

4, 羽衣事業所(大阪国際ユースホステル・羽衣青少年センター)

公園内という緑豊かな立地環境をよりアピールし、団体の研修・合宿の利用促進をします。さらに、家族や個人の利用を増やすために、関西空港利用の前後泊やU S Jや堺市周辺観光に便利な施設であることを積極的に告知します。また、様々なニーズに合った利用プランを企画推進します。

(1) 利用促進活動

- ① 利用者の目的に合わせた営業活動の強化
- ② 新しいベッドの導入で快適な寝室を周知
- ③ 楽しみや驚きを提供できる食事内容
- ④ 予約サイトの拡充と魅力ある宿泊プランの実施
29年度目標 2,500泊 28年度見込 2,100泊
- ⑤ 研修プログラム提供団体との提携
- ⑥ 近隣施設にパンフレットやチラシ等を設置し、情報提供や広報活動を実施

(2) 施設の管理・運営

- ① 利用者アンケートの提案や改善要望に積極的に取組み、サービス向上に反映させる
- ② 設備の維持管理計画の構築

(3) 地域・人との連携

- ① 高石市や浜寺公園、及び他施設(臨海スポーツセンター、高石市医療センター、漕艇センター)と連携し、情報交換や施設の共同PRを積極的に推進
- ② 地域の子どもやファミリーを対象としたイベントの実施
- ③ 新規ボランティアの募集と育成

(4) エコ活動の推進

- ① 節電・節水等を入所時のオリエンテーションやポスター掲示等で啓蒙
- ② 社会福祉活動の一環としてエコキャップ回収運動
- ③ 青少年センターのLED化を実施

(5) 事業の企画と実施

- ① こども対象の事業
 - ・英語であそぼう 4回×3コース 4~12月
 - ・はごろもキッズデイ 6回

- ・キッズクッキング 3回×2コース 10～3月
- ・デイキャンプ 3月
- ② 家族対象の事業
 - ・アウトドアクッキング 6・10・12月
 - ・親子でクラフト 7月
- ③ 一般向けの事業
 - ・教室事業
(ヨガ・太極拳・ノルディックウォーク・フ
ラダンス等) 32教室
 - ・童謡喫茶 10回(8・2月除く)
 - ・寄席 6・11月
- ④ 地域と連携した施設開放の事業
 - ・友×遊フェスティバル 12月
- ⑤ 宿泊者を対象とした事業
 - ・大晦日・元旦の宿泊イベント 12・1月

(6) 利用獲得目標

| | 平成29年目標 | 平成28年見込 | 見込比 |
|-------------------------------|-----------------------|-----------------------|------|
| 羽衣青少年センター 稼働率 | 160,000人 30% | 152,000人 29% | 105% |
| 大阪国際ユースホテル ベッド稼働率 客室稼働率 | 28,500人 37% 43% | 28,000人 36% 41% | 102% |

5, 大阪府立少年自然の家

10年間の指定管理2年目にあたります。昨年から始めた大人向けの事業の実施や、ファミリー、小グループ向けのプログラム開発により、幅広い年代の利用促進を図ります。また、リピート利用獲得のため、新たなプログラム作りやオプションサービスの設定、食事メニューの充実化を図り、新たな発見がある施設作りに取り組みます。

(1) 投資による新規利用者層の開拓

ファミリーや小グループに対応したバーベキュー場の新設

(2) 利用促進活動

- ① 青少年だけでなく、一般成人や高齢者にも利用しやすい愛称の導入
- ② 大人を対象にした野外活動や野外料理プログラムの提供
- ③ インターネットを活用する団体を誘致（企業研修・大学生）
- ④ 外国人利用者の誘致

(3) 施設の管理・運営

- ① 指導や補助などのオプションサービスの設定
- ② 食物アレルギーや摂食障がいのある方への対応食の提供
- ③ アドベンチャーランド整備後の「森の広場」の設置
- ④ 売店コーナーの充実
- ⑤ 無料 Wi-Fi の有効範囲を拡大
- ⑥ 館内およびホームページにおけるインフォメーションの充実

(4) 社会教育施設としての取り組み

- ① 食育の推進と食事内容の充実
- ② 学校との連携、出前講座の実施
- ③ ボランティアリーダーの育成と活動場面の拡大
- ④ 障がい者の就労支援と人に優しい施設づくり
- ⑤ 近隣市町村との連携
- ⑥ 青年の家等連絡協議会を中心に他の青少年施設と連携

(5) 事業の企画と実施

- ① 子ども対象の事業
 - ・フォレストジュニアクラブ 6～3月6回
 - ・長期自然体験キャンプ 8月
 - ・アドプトフォレスト事業 10月

- ② 家族対象の事業
 - ・そぶらの森 ホタル観賞の夕べ 6月
 - ・野外料理体験事業 7・10・1・3月
 - ・自然体験事業 9・12月
 - ・ナイトハイキング 11月
 - ・家族で遊ぼう 焚き火体験 1～2月7回
 - ③ 社会体育事業
 - ・教員のための野外活動教室 申込に応じ随時
 - ・ツリーイング指導者養成講習会 12月
 - ・プロジェクトラーニングツリー講習会 1月
 - ④ 知的障がいのある子どもの支援事業
 - ・臨床動作法と乗馬体験 10・3月
 - ⑤ 課題をかかえる青少年への支援事業
 - ・青少年の支援キャンプ 10月
 - ⑥ 野外活動と文化の融合事業
 - ・自然と文化のコラボレーション「コスプレの森」 年間を通じ10回
 - ・「森の絵本」をつくろう 10月
 - ・森の読書会 11月
 - ⑦ 大人向け自然体験活動
 - ・おとなの遠足 5・9・12月
 - ・森の婚活 9月
 - ・シルバーいきいき体験塾 9月
 - ⑧ 地域と連携した施設開放の事業
 - ・自然の家オープンデー
(音の葉音楽祭・自然体験プログラム等) 11月
- (5) 団体向けおすすめパッケージプラン（閑散期対策）
- ① 野外料理と自然体験活動
 - ② ツリーイングやスラックライン等の体験活動
 - ③ 季節感のある体験プログラム(餅つき・流しそうめん等)
 - ④ 体育館・研修室等の使用施設を予約時に確定する先行予約キャンペーン(通常、使用施設の確定は1か月前)

(6) 利用獲得目標

| | 平成29年目標 | 平成28年見込 | 見込比 |
|------------|---------|---------|------|
| 日帰りおよび宿泊利用 | 99,300人 | 96,800人 | 103% |

< 共同事業体 一般財団法人大阪府青少年活動財団 >

以 上